

## 新聖歌188番 「救い主は待っておられる」

1. 救い主は待っておられる お迎えしなさい  
心を定(さだ)め今すぐ 主にこたえなさい

\* 今まで主は待たれた 今も 主はあなたが  
心の戸を開くのを 待っておられる

2. ひと足 主に近づくなら 受けてくださる  
心の闇(やみ)は消え去り 愛がわき出る

\* (くりかえし)

<リビングプレイズ 219番>

6 主イエスの十字架の血で

主イエスの十字架の血で

わたしは赦され

み神と和解をして 平安を得ました

だから今 すべての悩みを

ゆだねよう

主は心に平和を 満たしてくださる

新聖歌253番 「イエスの御腕(みうで)に」

1 イエスの御腕に その御胸(みむね)に

静かに憩(いこ)う われは安(やす)し

天つ使いの 歌の声も 心に近く 聞こゆるなり

\* (下線部くりかえし)

2 イエスの御腕に 抱(いだ)かるれば

罪の力も 何かはあらん 疑いもなく 恐れもなく

悲しみすらも深くあらし \* (くりかえし)

3 イエスは常世(とこよ)の 岩にませば

生ける限りは 頼らまほし 栄え輝く 国にさむる

常世の朝を 待ちわびつつ \* (くりかえし) アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

- 1 馬槽(まぶね)の中に 産声(うぶごえ)上げ  
木工(たくみ)の家に 人となりて 貧しき憂(うれ)い  
生くる悩み つぶさになめし この人を見よ
- 2 食(しょく)するひまも うち忘れて  
しいたげられし 人をたずね  
友なき者の 友となりて 心くだきし この人を見よ
- 3 すべてのものを 与えしすえ 死のほか何も  
報(むく)いられで 十字架の上に 上げられつつ  
敵を赦(ゆる)しし この人を見よ

【次】

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

4 この人を見よ この人にぞ こよなき愛は  
現われたる この人を見よ この人こそ  
人となりたる 活(い)ける神なれ

アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン